人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田

目 次 contents

2021.8.1　No.1275

3　未来を担う“おおむたっ子”駛馬小学校
4　令和２年７月豪雨および新型コロナの影響への支援
5　東京 2020 オリンピック・パラリンピック
6　大牟田市職員採用試験
7　大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画
8　まちかどレポート
10　市からのお知らせ（01 ～ 05）
　新型コロナワクチン接種証明書を発行します ほか
12　すこやか健康
　集団健診を実施します ほか
16　くらしの情報／消費生活センター
21　８月の無料相談
22　おでかけガイド
　夏の星空観察会 ほか
24　子育てひろば
26　動物園へ行こう！
27　休日当番医・平日時間外小児急患診療当番医
28　輝き人 / 柔道強国！ジョージアの魅力

６月のデータ

７月１日現在（　）内は前月比

●人のうごき

人口	110,990 人 (-103)
男性	51,511 人
女性	59,479 人
出生	57 人
死亡	138 人
転入など	198 人
転出など	220 人
世帯数	56,183 世帯 (-6)

●火災など

火災 0 件 / 救急 512 件 /
交通事故 33 件

８月の納税期限　８月31日㈫

- 市県民税２期分
- 国民健康保険税２期分
- 後期高齢者医療保険料２期分
- 介護保険料３期分

ごみ・リサイクルなど

８月９日㈷のごみ収集、資源物回収およびし尿収集は休みです。

新型コロナに関する相談・受診方法

～ 受診前に必ず電話相談を ～

1. まずは、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話相談
2. 相談した医療機関で診療・検査ができない場合や相談する医療機関に迷った場合等

以下に問い合わせてください。診療・検査ができる医療機関を案内しますので、案内された医療機関に**電話相談したうえで受診**してください。

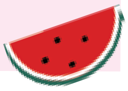
受診・相談センター（南筑後保健福祉環境事務所）
平日　☎68-5224　FAX 72-3035
夜間・休日　☎092-643-3288

● 今月の休日窓口　８月８日㈰

時間　午前８時 30 分～午後０時 30 分
開設　市民課、保険年金課、税務課、納税課、子ども家庭課

※詳しくは、市役所代表電話から各課へ。
ホームページでも確認できます。→

次回の『広報おおむた』は８月 15 日号
８月 12 日～ 14 日にお届けします



大牟田市

住所　大牟田市有明町２丁目３番地
電話　0944-41-2222（代表）
FAX　0944-41-2552（代表）
ホームページ　https://www.city.omuta.lg.jp
開庁日時　平日 8:30 ～ 17:15（土日・祝日休み）
※紙面では、市外局番（0944）を省略しています。

広報紙の配布に関する問い合わせは、
シルバー人材センター（☎53-2319）へ

今号の表紙

宅峰中学校陸上部の生徒たちが7月17日、オリンピックに出場するアフガニスタン陸上選手の応援に駆け付けました。生徒たちは「スタートの仕方など参考になった」「笑顔であいさつしてくれてうれしかった」などと話しました（関連記事が５ページにあります）。

世界遺産について、年間を通してさまざまなスタイルで学習しています

第41回 未来を担う“おおむたっ子”

11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

地域の宝を守っていきたい

駛馬小学校

　駛馬小学校は校区内に宮原坑や三池炭鉱鉄道敷跡があることから、積極的に世界遺産学習に取り組んでいます。１学期には明治日本の産業革命遺産の歴史や価値などを学ぶ「世界遺産キッズアカデミー」に６年生が参加し、オンライン講座を通して同遺産の構成資産がある北九州市、中間市の子どもたちと交流しながら学びを深めました。講座は３回に分けて実施され、大学講師などから同遺産のことをしっかりと学んだ子どもたちは「まだまだ知らないことも多く、とても勉強になった」「学んだことをボランティアガイドにも生かしたい」などと話しました。

　また、三池炭鉱関連資産の世界文化遺産登録６周年を祝うために、全校児童がお祝いのメッセージを書いた「お祝い旗」を作り、大牟田市へ寄贈しました。旗は宮原坑の櫓に飾られ、はためく旗のもとで７月８日、登録６周年記念集会を開催し、地域の宝である宮原坑をこれからも守っていくことを誓いました。集会後には、新型コロナ対策のため中止しているボランティアガイドの再開を願って、ガイドの練習をする児童もいました。世界遺産について張り切ってガイドする６年生の姿をはやく見たいですね。

児童数 274 人
（令和３年７月１日現在）

市の南東部に位置し、宮原坑などの世界遺産、古墳などの史跡を有する歴史ある地域です。平成30年４月、駛馬南・北小が再編して誕生しました。

６年生はおそろいのＴシャツで活動します

ようこそ！文化財の裏側へ Vol.4

「発掘調査」その１　表土剥ぎ・遺構検出

遺跡のある面を削り、遺構であるかを見極めます（こげ茶色の部分が遺構です）

　７月１日号で紹介した「試掘調査」の結果、遺跡が発見され、工事により遺跡の保存が危ぶまれる場合は「発掘調査」を行います。まず、地表面から生活の痕跡（遺構）が確認できるギリギリのところを見極めながら、ショベルカーで丁寧に掘ります（表土剥ぎ）。次に「かきいた」や「ねじり鎌」という道具を使って、手作業で土を薄く削るように掘っていき（遺構検出）、土の色や質感（遺構部分は暗い黒色で、周りの土と硬さが異なります）で遺構かどうかを見極めていきます。

※7月1日号で「vol.2」としておりましたが、正しくは「vol.3」でした。訂正してお詫びします。